

## 特集2 保安・防災の強化

# より一層の安心・安全をめざして 「保安強化実行年」の取り組み

東京ガスは、お客さまの安心・安全を確保するとともに、将来にわたりお客さまの期待に応え続けるために、保安レベルの向上に努めてきました。

しかし、2013年10月に発覚した「ガス漏れ修理の不正」は、

ガス事業の根幹である「保安の確保」を根底から揺るがしかねない深刻な事象でした。

当社はこの事態を反省し、2014年度を「保安強化実行年」と位置づけ、一人ひとりが「安全の確保に万全を期す」決意のもとで、保安関係4本部が中心となって、保安強化に向けた課題に取り組んでいます。

これらの取り組みを通じ、より一層の保安レベル向上に努め、お客さまの「安心・安全・信頼」につなげていきます。

**P33** ガス漏れ修理の不正に関する経済産業省からの指導について

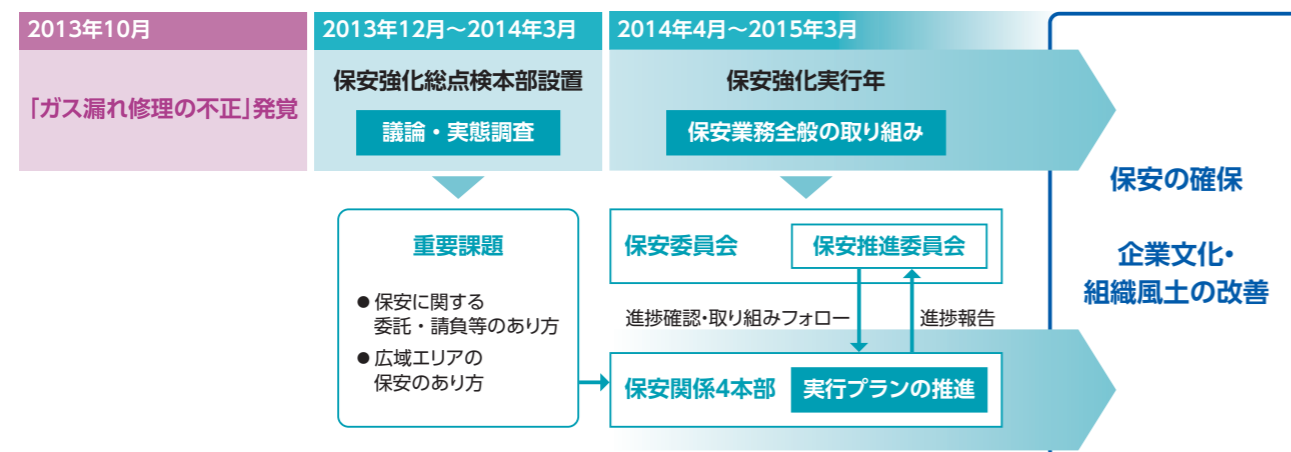
## 「保安強化実行年」の取り組み

### 保安強化総点検本部での検討

東京ガスは、2013年10月に発覚した「ガス漏れ修理の不正」の反省のもと、同年12月より「保安強化総点検本部」を設置し、導管ネットワーク本部、広域圏営業本部、リビング本部、エネルギー生産本部の保安関係4本部が主体的かつ積極的に議論を重ね、保安業務全般の総点検・課題整理を行ってきました。

その結果、「保安に関する委託・請負等のあり方」と「広域エリアの保安のあり方」を重要課題と位置づけ、検討を深めていくこととしました。これらの検討を通じて、グループ全体の企業文化・組織風土改善にもつなげていきます。

「保安強化実行年」の経緯



### 保安の強化に向けて

東京ガスグループにおいては、2014年度を保安強化に向けた取り組みを展開する「保安強化実行年」と位置づけ、保安関係4本部がそれぞれの保安特性を踏まえて、行動レベルでの業務活動の見直し、基準・マニュアル類の整備・仕組みの充実などに取り組んでいます。保安の取り組みを契機に、企業文化・組織風土の改善に向けては、現場での取り組み、スタッフの取り組み、部門・業務間の連携などにおいて、東京ガスグループが一体となって、一人ひとりの行動・仕事のマネジメントを見直していくところから進めています。

## 保安強化に向けた私たちの取り組み

### 導管ネットワーク本部



本部長 荒井 英昭

### 従来以上に災害に強く、安全なガス供給をめざします。

当本部の保安に関わる業務は、導管の維持管理や地震防災など多岐にわたっています。今回の事案の主な原因は、お客さまと当社との認識、協力企業と当社との役割や責任の認識、経営層と現場との考え方などにずれがあったことだと考えています。

重点的な取り組みとして、1つ目は、「ガス漏れ修理の不正」事象の再発防止策を講じること。2つ目は、広域

エリアの緊急保安や地震防災について、広域支社の業務支援を行うこと。3つ目は、内管や緊急保安業務などの固有の課題を解決すること。4つ目は、協力企業との向き合い方を見直すことです。当本部は2014年度を「変革の年」と捉え、保安強化に向けた対策に迅速かつ具体的に取り組む、災害に一層強い安全なガス供給体制をめざしていきます。

### 広域圏営業本部



本部長 安岡 省

### 本店地区と連携し、自己改革できる組織づくりに取り組みます。

当本部の広域支社や関係都市ガス会社は、サテライト基地の運営からガス機器の安全対策まで、一人が幅広い業務を担当する機会が多い一方で、設備数は限られており、イレギュラーな対応の機会が少なく、専門性を強化を課題としながら、保安人材育成に取り組んでいます。

重点的な取り組みとして、1つ目は、緊急保安の受付・

指令業務や地震など非常時の対応について、専門性の高い本店地区との連携を強めるなど組織的な工夫により、保安の品質を向上させること。2つ目は、保安事象の再発防止です。今回当本部でまとめた「保安十か条」を念頭に保安の原点に立ち戻り、基本に忠実な作業を行うための仕組みの活用や強化に取り組む、お客さまに安心してガスをお使いいただけるよう努めていきます。

### リビング本部



本部長 幡場 松彦

### お客さまや保安を第一に、現場実態に即した体制へと強化します。

当本部は、お客さまの敷地内の所有設備を対象とした保安を確保しています。そのため、日頃からお客さまに保安の必要性をご理解いただけるように努めること、保安業務を担う東京ガスライフバルや工事会社と目的を共有し、バックアップ体制を整えることが重要と考えます。

2014年度、当本部に「保安強化委員会」を設置し

ました。その中で行う取り組みとして1つ目が、夜間・休日や、至急工事などの協力企業へのバックアップ体制を強化すること。2つ目は、基準やマニュアルの見直しを行うことです。不明瞭な点や、基準と実態に不整合な点があれば解消し、現場と実態に即した体制を整えて、お客さまや保安を第一に考えた行動が一層確固たるものとなるよう取り組んでいきます。

### エネルギー生産本部



本部長 山上 伸

### 原点に立ち戻り、保安・安全の強化に向けた改善・改革を推進します。

当本部は、非常に大きなエネルギーを持つLNGを大量に扱っています。そのため、工場の操業管理・設備管理・セキュリティ管理などには常に細心の注意を払っています。また、年間350隻を超えるLNG船の受け入れには、海上での安全確保も重要であり、海上保安部や荷役関係会社など多くの関係者と緊密な連携を図っています。

重点的な取り組みとして、1つ目は、安全意識の高揚や責任の自覚など意識改革。2つ目は、現場経験の場を確保した若手社員の教育。3つ目は、専門的な知識・技術を持つ協力企業とのパートナーシップの更なる強化。4つ目は、マニュアル・基準の見直しです。各工場の基準やルールとの相違点を確認し、最良の方法を共有して全体の保安レベルを高めていきます。

### 全社保安体制(2014年度)

